

H30 年度 楠見西小学校

図書館教育

1. 目 標

図書に親しみ、読書を通して知識を広め、豊かな人間性を培う。

2. 努力点

- (1) 読書の楽しさが分かり、進んで本を読む子どもに育てる。
- (2) 本を大切にし、図書室では望ましい態度で利用できる子どもに育てる。
- (3) 図書室の整備・充実をはかり、本に親しみ読み浸れる環境づくりをする。

3. 実践計画

<読書指導>

- ・指導時間の割り当てをする。
- ・学年や目的に合った読書指導をする。
- ・読書感想文の指導をする。

<図書室利用の留意点>

- ・本をていねいに扱う。
- ・図書室では、静かに読書する。
- ・貸し出しの時は、図書貸し出しファイルを利用し、決められた日（1週間以内）までに返却する。（一人1冊。長期の休みの時は、3冊まで）

<活動内容>

- ・児童図書の選定基準…児童の興味のあるものや教育活動に必要なもの、教育活動の関わりのあるものを選び、購入する。
- ・廃棄基準…20年以上経過したものや破損が激しいものを廃棄する。

<図書委員会の取り組み>

- ・学級文庫として各学級に毎月本の貸し出しをする。
- ・毎週月・木・金曜日の昼休憩に図書室を開放する。
- ・雨天時は、大休憩と水曜日以外の昼休憩に図書室を開放する。

視聴覚教育

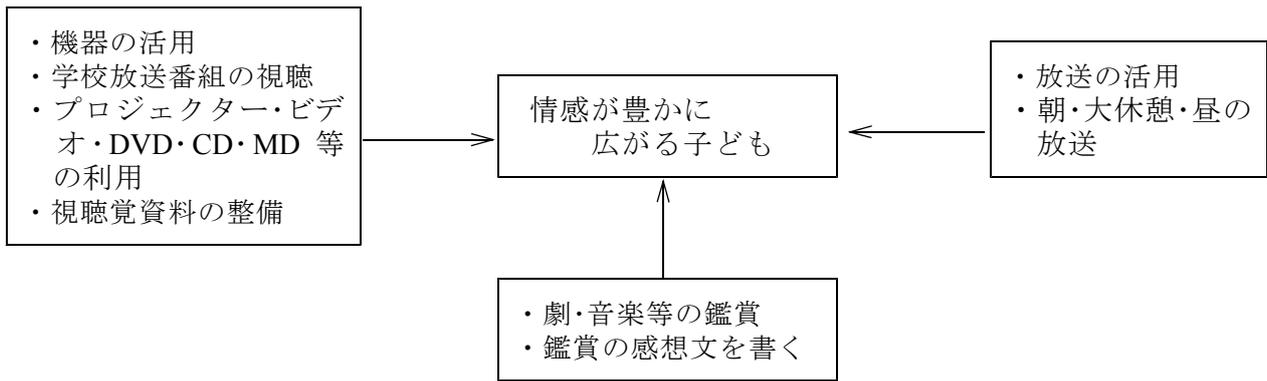
1. 目 標

視聴覚教材及び機器を活用し、豊かな心情を育てるとともに学習の効率をあげる。

2. 努力点

- ・学習の目的・内容・学習の過程を十分考えて計画的に位置づける。
- ・学校放送番組の活用をはかる。
- ・機器の整備と保管。

3. 具体的内容



情報教育

1. 目 標

- ・情報やコンピュータについて関心を持たせ、コンピュータに触れ、慣れ親しむ。
- ・コンピュータを活用し、基礎学力の向上に役立てる。

2. 努力点

- ・子ども達に、できるだけ多くコンピュータに触れる機会を与える。
- ・学習ソフトを活用し、漢字や計算などの習熟をはかる。
- ・各教科、領域における活用方法を研究する。
- ・コンピュータや電子黒板の基本的操作の理解を深めるため職員研修を行う。
- ・ホームページを活用し、情報を発信していく。

3. コンピュータ操作の修得目標

低学年	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンルームの使い方が分かる ・電源を正しく入れたり切ったりできる ・マウスの操作（クリック、ダブルクリック、ドラッグ、右クリック） ・ソフトキーボードでのかな文字入力 ・アプリケーションの起動・終了
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ各部の主な名称が分かる ・ディスクの取扱い ・キーボードを使ったローマ字入力 ・インターネットの閲覧（指定されたリンク先） ・画像等のファイル保存・読み込み・編集
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットでのキーワード検索 ・デジカメで撮影した画像の処理 ・プリンターの使用・印刷設定 ・学習のまとめや発表に必要な資料作成 ・正しい情報の選択・活用 ・著作権や個人情報についての知識・理解